

2007年12月14日

品質監査実施結果について

東洋ゴム工業株式会社
代表取締役社長 片岡善雄

弊社製品が「要求品質が正確に製品品質に展開され、出荷時点で保証されているか」について国内全生産拠点の品質監査を行った結果、全工程にて、厳しい品質管理のもと、規定どおりに生産していることを確認いたしました。

品質監査は社長直轄の品質監査室が、次の項目について実施いたしました。

[監査項目]

- ・ 製品の性能と顧客要求品質、該当の場合は公的規格と、社内規格との整合性
- ・ 現在生産している製品と開発展開図面との整合性
- ・ 製品の開発ステップ(DR：デザインレビュー)の遡り点検、記録の確認

[監査結果]

- ・ 顧客要求又は公的規格を包含した社内抜取試験規定であることを確認しました。また、これに基づいた性能試験を確実に実施し、全抜取試験結果が社内規格を満たしていることを確認しました。
- ・ 製品監査「製造全過程で、図面通りの製造、必要な記録の保存、不具合の確実な処置」のそれぞれについて、規定通りに生産活動していることを確認しました。
- ・ 要求品質の展開の(開発～生産化)過程について、その節目管理であるDRを全部門(技術・生産・営業・品質保証)の責任者チェックのもと確実に実施し新製品を立ち上げるとともに、立ち上げ時点の初期管理で全製品の安全性・耐久性を含む顧客要求又は公的規格を包含した社内規格で性能確認をし、品質を確保していることを確認しました。

弊社は品質監査室において、今後とも「全社の品質保証力」を継続的に向上させる活動を続けてまいります。

以上